

発行所

〒921-8116

金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

一泉同窓会

電話 (076) 242-0211

FAX (076) 242-0211

2006. 3. 31. 発行

E-mail: issen.knz@hotmail.com



一中・泉丘の心意気示す

9月1日「一泉行列」に38人参加

母校・金沢泉丘高校の第57回創立記念祭は平成17年9月1日から3日まで行われた。その初日を飾る「一泉行列」に同窓会員38人が参加、一中・泉丘の心意気を示した。

一中の「桜章校跡地」・本多町から香林坊一片町一有松を經由、泉野出町の現校舎まで4.5キロを1時間半かけて練るこの行列は「一中魂から泉丘魂」の継承を目指し、広く県民、市民に一泉の意気を示すもので、約20年前から続いている。例年、OB参加は10人未満だったが、6月の同窓会代表委員会で行列の盛り上げが決議された。事務局では泉丘2期から定年生活入りとなった同15期までと、今年と同窓会総会運営幹事の同24、25期に参加を呼びかけ過去最高の集まりとなった。

午前11時25分、金沢市観光会館前で行われた出発式には渋谷亮治元同窓会会長（一中54期）も顔を見せた。同30分に出発。同窓会員

の位置は応援団員ら29人に次いで2番目。すぐ後ろにはブラスバンド部の68人が続き、校歌やマーチのにぎ

やかな演奏に元気づけられた。最年長の太田重雄さん（同50期）は白線帽をかぶり、野球部OB会長の山本道生さん（同54期）はユニホーム姿。蚊谷八郎会長（泉丘14期）、水谷昭副会長（同7期）、紅一点の久野絹枝さん（同10期）も学校まで歩き抜いた。

行列は総勢300人。OBたちは一中、泉丘の応援団旗を掲げ、泉泳会の旗や10月15日の一泉同窓会への参加を呼びかけるプラカードも登場した。在校生たちは野外劇の衣装や仮装で華やかさを盛り上げた。沿道に住む多くのOBたちから拍手と励ましの声がかかった。

母校グラウンドでの到着式で、蚊谷会長は在校生に対し「励まされた。楽しかった。青春回帰をありがとう」と礼を述べ、同窓会員には「次回もより多くの参加で、一泉魂をアピールしよう」と呼びかけた。





平成17年度一泉同窓会総会・懇親会 「心身一如」の精神、末永く 約800人が誓い合う

創立112周年を記念する平成17年度の一泉同窓会総会・懇親会が10月15日午後6時から、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。出席した86歳の中44期生から21歳の泉丘55期生までの約800人が、「心身一如」の精神を末永く受け継いで行くことを誓い合った。

総会では蚊谷八郎会長（泉丘14期）が「母校を思う素晴らしい皆さんとともに同窓会を盛り上げていこう」とあいさつ、今回の主幹事の同24期、副幹事の25期、33期、43期の労に感謝の言葉を贈った。

正村前事務局長に感謝状

16年度決算・事業、17年度の予算・事業案報告に続いて上田政憲校長が母校の近況を報告、現役合唱部員が一中と泉丘の校歌を披露

11年間の事務局長職に感謝



した。席上、平成6年から11年間の長きにわたり同窓会事務局長を務めた元母校教頭の正村健三さん（同4期）に、蚊谷会長から感謝状と記念品が贈られた。

懇親会は荒川宏さん（一中45期）発声の乾杯で始まった。今回の目玉は24期が制作した「一泉創立112年の歩み」のスライドショー。一中の本多町校舎や泉丘初期の菜の花畑の中の校舎、授業風景など懐かしい出会いの演出となった。応援歌の熱唱など例年通りの盛り上がりの中で閉会時間となり、石崎皓三さん（同45期）の音頭で万歳を三唱し、別れを惜しみ散会となった。

工夫の運営で参加者増図る

総会・懇親会の運営には毎年工夫が見られるが、今年度の幹事・24期は受付の混雑を避けるため、15人がPTAから借りたスタッフジャンパーを着て案内に当たったほか、インフォメーションと当日受付場を新たに設けた。またホテル内に託児室を設置、若い母親会員の参加者増につなげた。

厳粛に物故者慰霊祭

一泉同窓会の総会に先立ち、15日午後3時から母校の厳霜碑前で物故者慰霊祭が行われた。あいにくの雨にもかかわらず一中40～50期代の代表者らを中心に30人が出席した。石浦神社の長谷勝俊宮司の祝詞のあと、蚊谷八郎会長、上田政憲校長をはじめ全員が玉串を捧げて日露戦争以来の殉難者や亡き師、友の霊を祈った。



地区・職域同窓会だより

**05関東一泉同窓会総会・懇親会
過去最高の315人が参加**

2005年関東一泉同窓会の総会・懇親会が11月2日、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルで開かれた。今年のテーマは「学から楽へ」。オーケストラ・アンサンブル金沢の出演やホームページを立ち上げての事前PR、Eメールでの参加受付など、幹事の泉丘26期の趣向を凝らした呼びかけが功を奏し、過去最高の315人が出席する盛会となった。



総会は26期の大砂雅子代表幹事の歓迎の言葉で始まり、浅井敏郎会長（一中50期）のあいさつに続いて来賓の蚊谷八郎一泉同窓会会長、泉屋利郎同副会長が祝辞を述べ26期の努力を称えと共に「関東一泉」のますますの発展を祈念した。

OEK 演奏にアンコール

この後、アンサンブル金沢の弦楽四重奏が登場、エルガーの「愛のあいさつ」など4曲を演奏、アンコールにも応えた。続いて上田政憲泉丘高校校長が母校の近況などを報告した。

懇親会の始まりもユニークだった。浅井会長や来賓による鏡割、お土産に持ち帰れた一中、泉丘の校章入り漆塗り枡での乾杯、元応援団長の松田亜世君（泉丘50期）、馬渡寛君（同51期）のリードによるエールと校歌斉唱。会場のあちこちに同期生が旧交を温める輪が広がり、同じ学び舎から巣立った者同士が年代を超えて集う有意義な場となった。糸多宗人副会長（一中54期）の一本閉めで、別れを惜しんで閉会となった。

100人参加で盛り上がる**第25回関西一泉同窓会**

関西一泉同窓会の第25回（平成17年度）総会が6月4日午後、大阪・城見のパノラマスカイレストラン「アサヒ」で約100人が集まって開かれ、旧交を温めた。金沢から蚊谷八郎同窓会長、普神貴行、泉屋利郎両副会長、中山一郎事務局長、上田政憲校長のほか、招待された松田春海、喜多充両恩師が出席した。

片瀬貴文会長（一中55期）が「在校生たちが文武両道で活躍していることを誇りに思う」とあいさつ、蚊谷会長、上田校長も同窓会の様子や進学状況などを報告した。

米林隆さん（同54期）の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。宮本晴江さん（泉丘13期）と藤多輝さん（同37期）の軽妙な司会で盛り上がり、最後は一中、泉丘両校歌の大合唱となった。

二次会は松尾ゆきさん（通信12期）経営の北新地のバー「珠洲」へ。30人余りが参加してもう一度盛り上がった。

**北電一泉会、山代温泉で総会**

北陸電力一泉会（並木誠会長・泉丘20期）が平成17年5月21日、山代温泉の「ホテル百万石」で開かれた。同会は2年毎に開催しており、29回目の今年は会員77人中49人が参加し、大盛況だった。

懇親会では、野球部など後輩たちの活躍を称えと共に、自らの高校時代を振り返り、思い出話に花を咲かせた。また、校歌や応援歌を合唱し、母校と会社の更なる発展を誓い合った。（泉丘20期・上田知宏 記）

17年度三馬一泉同志会総会 新会長に角氏、徳田氏が講演

三馬一泉同志会の17年度総会が6月20日、金沢ニューグランドホテルで21人が出席して開かれ＝写真＝、校歌や応援歌などを高らかに歌って親睦を深めた。



杉村靖夫会長（泉丘4期）のあいさつに続き、役員改選で角信平さん（同5期）を新会長に選んだ。総会に先立ち元泉丘校長で県立歴史博物館の徳田寿秋館長（同12期）が「加賀藩最後の殿様のエピソード」と題して講演した。徳田館長は第14代前田慶寧（よしやす）藩主について、尊王派で郷土の未来像をしっかりとらえた殿様だったと、エピソードを例に分かりやすく語った。

（泉丘8期・北島敏男 記）

野々市一泉同窓会総会・懇親会 2年ぶりに和気あいあいと

2年に1度の野々市一泉同窓会の総会・懇親会が7月2日、野々市町文化会館で安田彦三町長（泉丘9期）ら会員59人が出席して開かれた。総会では田村昌俊事務局長（同6期）を副会長に、新事務局長に田多野和彦さん（同15期）を互選した。

続く懇親会で、魚野孝次郎会長（同5期）が「皆さんの元気な姿を拝見できうれしい。さ



らに参加者増に努め、有意義な同窓会にしていこう」とあいさつ、来賓

の上田政憲校長が母校の現況を報告した。

野々市一泉同窓会の特徴は酒宴前の校歌斉唱。今年も一中、泉丘の校歌を高らかに歌い、最年長坂本文郎さん（一中42期）の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。和気あいあいのうちに2時間余が過ぎ、新田史郎さん（同50期）の万歳で名残の宴を終えた。

松任一泉同窓会が17年度総会 白山市の一体化へ働きかけ

平成17年度松任一泉同窓会の総会・懇親会が11月26日、グランドホテル松任で76人が参加して開かれ、役員改選で会長の板尾達雄氏（一中54期）が顧問に、副会長の福住孝氏（同57期）が新会長に選任された。また、白山市の誕生を機に同市内全域の同窓生が一堂に会せるよう、福住新会長を中心に努力することを確認した。



あいさつに立った板尾会長が「松任一中会の後を受けて発足した松任一泉同窓会の総会も今年で23回目。広く白山市全体の同窓会を視野に、さらなる発展を願っている」と述べ、福住新会長も「先頭にたって楽しい会の運営に努めたい」と決意を語った。

恒例の勉強会は、医師でもある福住新会長が「生活習慣病の予防」についてスライドを使いながら講演、続いて来賓の水谷昭一泉同窓会副会長（泉丘7期）の発声で乾杯、千木良一泉丘高校教頭（同23期）が学校の近況を報告、懇親会ではビンゴゲームに歓声をあげ、胸熱く一中、泉丘の校歌を歌って散会した。

新役員は次の皆さん（○は新任）

◇会長 ○福住孝◇副会長 本家京子（泉丘7期）、中山幸昌（同9期）、○青木桂生（同13期）、○油省三（同14期）

（泉丘42期・松本雅治 記）

一中・泉丘 各期の集い

◆一中50期生が山代温泉で同窓会

一中50期生の同窓会が10月25、26日、山代温泉の葉渡莉で開かれた。当初は21人の出席予定だったが、直前になっての病気などで4人が欠席、17人での同窓会となった。

傘寿を迎えた我々の出席が、年々減っていくのはさみしいが致し方ない。しかし今回は車椅子で藤浦兄が出席してくれ、うれしかった。まず西坂代表のあいさつと同期生の近況報告があり、「271人の同期生が115人になった。しかし、このように毎年1回でも顔を合わせられるのは幸せなこと。あと何年続けられるか分からないが、頑張っって継続したいと思う」と締めくくった。出てくる顔触れも決まってしまったとは言え、年に一度の再会は喜びである。



酒が入り話題も尽きることなく、和気あいの雰囲気にも満足した。会も終わりにになると恒例の応援歌の発表会となり、忘れた歌詞を思い出しながら歌って活気を取り戻した。翌朝、散会となり、来年も元気で再会できることを期待しながら各自帰路についた。

〈参加者〉大森三郎、改田直己、茅野正、小森成男、高田外代次、橘喬、中村成寿、西坂弥三郎、野村庄一、林哲夫、深見外志治、

藤浦鋭夫、松江重隆、宮村孝夫、安田俊夫、安原一夫、浅井敏郎 (浅井敏郎 記)

◆一中51期が傘寿同窓会

傘寿を迎えた一中51期の宮太郎会長ら17人は平成17年5月24日、尾山神社にお参りして健康長寿を祈願した後、辰口温泉「まつさき」に一泊、傘寿記念の同窓会を開いた。同窓会には20人が出席した。



まず、昨年の同窓会以後に亡くなった4人（広実寿、久野明宣、山下勇、村上茂雄）が紹介され、総勢105人のご冥福を祈った。続いて越村東海地区代表の乾杯の音頭で酒宴に入った。お互いを懐かしみ、往時を偲ぶ談論風発に花が咲き、酒が進むにつれて喉自慢の面々がカラオケで盛り上げ、室谷幹事がプロ級のシャンソンを披露した。フィナーレは越村君の旗振りで「南征の調べ」を大合唱、大森東海地区代表が一本締めで締め括った。

翌日、これからの人生を「明るく、楽しく、元氣よく」を合言葉に生き抜くことを約束し、家路についた。

〈出席者〉阿部正一、石田豊、大森三郎、小畑四郎、金森義、川原善一、岸本孟、越村吉郎、小林外茂雄、島田徳三、清水三外、竹田徳太郎、中野利男、中井泰一郎、新田勉、野田邦夫、朴木春夫、水落出、宮太郎、宮林和彦、室谷与三松、横井衛 (宮林和彦 記)



カタニ産業株式会社

代表取締役社長 **蚊谷八郎** (一泉同窓会会長 泉丘14期)

本社 〒920-0902 石川県金沢市尾張町2丁目16の80
TEL (076) 263-6111 FAX (076) 222-3433



北菱電興株式会社

代表取締役社長 **小倉周一郎** (前一泉同窓会会長 泉丘7期)

専務取締役 **水谷 昭** (一泉同窓会副会長 泉丘7期)

本社 〒920-0381 金沢市古府3丁目12番地
TEL (076) 269-8500(代) FAX (076) 269-8501

◆一中52期会が出版記念同窓会

平成17年は戦後60年一。戦中戦後の苦難な時代の思い出が、あちこちで語られた。そんな折りの4月6、7日、恒例の金沢一中52期会「春の温泉一泊懇親会」が辰口温泉「たがわ龍泉閣」で15人が出席して開かれた。

今回は一中卒業60周年と52期生の『刈谷敢闘記』出版を記念する集まりとなった。終戦の年の昭和20年春、一中を卒業した仲間は234人。この60年間に100人が亡くなった。席上、改めてご冥福を祈り亡き友の在りし日の姿を偲びながら、青春時代の思い出に浸った。

平成16年9月に完成した『刈谷敢闘記』は52期生の「青春の記念碑」である。その生みの親である石黒昭三君は足掛け3年、数回の入退院を繰り返し、病と戦いながら『刈谷敢闘記』を書き上げられた。初志を貫徹する一

中魂に心からの敬意と感謝の念を捧げ、新型パソコン一式を贈呈した。

〈参加者〉三谷磯彦、西野貞雄、木村昭文、小島和夫、高井瞭、伊藤豊明、小牧愛彦、米田満、斉藤忠夫、石黒昭三、白川善、松田利三、井端清生、山田一雄、田辺建雄

(松田利三 記)



戦局が厳しさを増した昭和19年8月、金沢一中52期生は、勤労働員のため愛知県刈谷市の工場へ出発した。慣れない作業に制

金沢一中をはじめ二中（現錦丘高）、三中（同桜丘高）、小松中（同小松高）、七尾中（同七尾高）の生徒が「石川県勤労学徒隊」として、刈谷市の豊田自動織機に動員されたのは19年8月5日から翌年6月末までの11カ月。初めて触れる旋盤などで自動車や飛行機の部品を製造した。

刈谷
敢闘記

勤労学徒の体験を一冊に ——一中52期生が出版

冊子では工場での苦労や

服を油まみれにして「お国のため」働いた日々から60年。勤労学徒の体験を一冊にまとめた『刈谷敢闘記』が完成し、同窓生の手に渡った。そこには過酷な労働の中で仲間と生産に励んだ誇りがにじみ、けんかも恋もした等身大の青春像が浮かび上がった。

『刈谷敢闘記』の編集が始まったのは平成13年から。同窓生の一人が寄せた文章をきっかけに、それまで誰も口にしなかった勤労働員の思い出が一気に吹き出した。中には「思い出したくない」と口を閉ざす人もいたが、多くの人が「人生最大の貴重な体験だった」との思いが募り、石黒昭三さんを中心に編集が進められた。

二度の地震、名古屋空襲の恐怖が書きつづられたほか、夜勤で出たうどんの味や、生徒全員が自由外出を求めて夜間に廊下を踏み鳴らしたデモ、三中を立ち会いに一中と二中が近くの公園で「決闘」した逸話などにも触れ、勤労働員の飾らない姿が浮き彫りとなった。

当時、工具を戦場に送った豊田自動織機を支えたのは石川の勤労学徒であり、石黒さんは「国のため苦労をいとわず仲間と一緒にものづくりに励んだ体験は、戦後日本を築く上で決して無駄ではなかった」と話した。

(平成16年8月15日付北國新聞から)

◆思い出語り合う東京五五会

金沢一中に昭和18年入学、同23年に卒業した55期生は正規一中卒業最後の学年である。関東地区に住む東京五五会は、ここ数年集まっていなかったが「ピンピンコロリになるまで大いに



だべろう」と昨年（平成17年）は4月、5月、9月の3回も銀座ライオンで会合を持った。

入学した仲間は1年修了で陸軍幼年学校へ、4年修了で旧制四高へ進学、5年の卒業後に金沢一高（泉丘1期）へ進むなどいろいろ。3年の時は美川の航空工場で戦闘機の発動機部品を3勤交代で作ったり、その年の8月、宿舍のお寺で終戦の詔勅を聞いたことなど毎回思い出話が尽きなかった。

9月21日は鶴屋一郎、中嶋隆雄、中西健治、中村浄一、西田芳、丹羽靖一郎、林永、平松健治、福田喜洋、福塚和夫、藤田栄一、石橋雄二、井東敏彦、円角脩、大西章、小堀和哉、小村隆、下村佳生、清野知士、竹中道人、横井健、利岡正の22人が出席した。

（丹羽靖一郎 記）

◆「一二三会」戦後60年の集い

終戦の年の昭和20年に旧制金沢一中に入学した一中57期生でつくる「一二三会」は9月30日、金沢市のホテルイン金沢で久々の集いを開いた。戦後60年の節目とあって全国各地から39人が集まった。

会員は5年制の旧制中学に入学（315人）したものの同23年、学制改革による新制中学への移行で3年で卒業となり、級友たちは泉丘高校のほか二水や桜丘、葦台（現金沢商）、松任などへの進学を余儀なくされた。また、中学入学当初は、戦局の悪化で上級生たちが学徒動員に駆り出される中で授業を受けるなど、混乱期の学生生活を送った。

「一二三会」の同窓会は還暦を迎えた平成5年以来で、12年ぶり。懇親の宴では、激動の時期を過ごした学び舎での思い出を心ゆくまで語り合い、旧交を温めた。

◆久々の関東八泉会に34人集う

関東地区に住む泉丘8期の「関東八泉会」が今年1月14日、東京駅八重洲口の駅ビル12階ルビーホールで34人が出席して開かれ、夏にも金沢で卒業50周年の盛大な総会を催すことを確認しあった。



金沢からかけつけた福田太睦会長が持参した応援団旗を飾り、校歌のCDを流して雰囲気高め、宮丸凱史関東八泉会会長のあいさつ、鳥越崇君の乾杯の音頭で開宴となった。久々の集まりで話は尽きず、あっという間に2時間が過ぎた。応援団長だった鷺田巖君の旗振りで校歌を斉唱、いったん中締めとしたがさらに盛り上がり2度目の締めはなんと4時間後。ふるさとで開く50周年の記念総会での再会を約束して散会した。

豊かな明日へ、信頼の架け橋を

金沢泉丘高校卒業生一同

世話人：第21期 安宅 建樹





◆泉丘7期が卒業50周年の集い

泉丘7期の卒業50周年記念同窓会が平成17年6月26、27日、栗津温泉「のとや」で恩師の松田春海先生(81歳)を迎えて開かれ、参加した102人は、加茂正則幹事が制作した懐かしいスライドショーに見入り、50年前の高校時代に立ち返った＝写真上＝。

スライドの内容は入学した昭和27年4月から卒業の30年3月までの校舎や周辺の様子、1、2、3年時のクラス写真、在学中の絵画や書道作品、修学旅行のスナップから授業風景まであり、バックには校歌や応援歌が流れている。加茂幹事が自分の持っている写真や母校にある一泉同窓会の資料室に通って作り上げた約20分の労作。在りし日の自分の姿が出てくるたびに歓声が上がり、参加者の心は50年前にワープ、「写真は歴史を語る」の諺を実感するひと時となった。

吉田紀幸、北村喜久雄、和田英夫、村上喜久男の4人による謡曲「四海波」、水谷昭幹事のあいさつで祝宴に入った。応援歌、校歌を合唱して絆を深め合ったが、懐かしいスライドを見たあとだけに夜遅くまで高校時代の話が尽きなかった。

◆泉丘10期の泉寿会が新年会

泉丘10期卒業の泉寿会恒例の新年会は今年2月18日、金沢市尾山町の石川県文教会館で62人が参加して開かれた。

52人の物故者に黙祷を捧げた後、若林茂樹会長が「泉寿会の活動は一泉同窓会の中でも一番だと思う。さらに絆を深め一層楽しい会にしていきたい」とあいさつ、寺西盛雄君(石川県出納長)の乾杯の音頭で酒宴に入った。

関西泉寿会からかけつけた4人を代表して堀内寛司会長があいさつ、参加者全員に景品が当たるビンゴゲームなどで盛り上がった。校歌斉唱、中山修副会長の万歳三唱で散会となったが、片町へ繰り出した2次会は深夜まで続いた。

◆関東泉寿会も恒例の新年会

1月最終日曜日恒例の関東泉寿会(大西忠会長)の新年会は29日、東京・錦糸町のロッテ会館で32人が集まって開かれた＝写真中＝。金沢から若林会長ら4人、関西から堀内会長ら2人が参加した。

金沢の「かぶら寿し」を食べながらの懇親会では、卒業後初めて出席した竹口美津穂



丘村 歯科 医院

丘村 義人 (泉丘21期)

金沢市平和町2-21-22
TEL (076) 247-1871 FAX (076) 280-4072

いしかわ増販情報センター

<http://www.kashiwano.co.jp/>

代表 公認会計士 柏野 博英 (泉丘21期)

〒921-8022 金沢市中村町26番43号
(株)柏野経営 柏野会計事務所内
TEL 076-243-7222 FAX 076-243-7709

ゝさん（富山市）の雄弁？に、青春時代にタイムスリップしたような楽しい時を過ごした。

◆関西泉寿会が淡路島で総会

また関西泉寿会の総会・懇親会は17年10月23日、淡路島・神戸製鋼所の「ゆうなぎ荘」で開かれた＝写真8頁下＝。金沢や関東からも出席の30人が1泊して深夜まで語りあった。

翌24日は鶴来紘一君（前神戸市助役）の計らいで16人が明石海峡大橋の主塔に登頂、海拔300Mからの眺めを体験、残りは北淡町の震災記念公園を見学した。



◆関東緑窓会が恒例の例会

6月の第一土曜日恒例・関東緑窓会（泉丘12期）の17年度例会が6月4日、東京・新宿のホテル「センチュリーハイアット東京」で開かれた＝写真上＝。まだ現役で活躍している人も多く急用での欠席者も出て、35人しか出席できなかったが楽しく和やかな一夜となった。

生徒会長だった川口義昭君の乾杯の音頭で始まり、村上与恵関東一泉同窓会副会長の活動報告、慶応大学経済学部教授飯野靖四君のスウェーデン留学報告。毎年、金沢から参加して吟醸酒「手取川」を寄贈してくれる吉田酒造の吉田外志君の第一線引退あいさつの後、高校時代の懐かしい話で懇親を深めた。

第2部のカラオケ大会では女性陣が積極的出演、デュエットありハーモニーあり、肩を組んでの校歌合唱ありで例年以上に盛り上がった。最後に次期幹事の酒井忠夫君、麻田孝二君が決意表明、この日のカラオケスター中本宏慶君の締めで再会を約束して散会した。

（藤本震一 記）

◆泉丘16期が還暦を祝う会

泉丘16期は去る2月11日、金沢エクセルホテル東急で少し遅れの「還暦を祝う会」を開いた。86歳の西野哲也先生はじめ恩師9人、同窓生93人（県外23人）の102人参加のにぎやかな祝賀会となった＝写真下＝。

酒宴に先立ち、これまでに亡くなった級友21人の冥福を祈って黙祷を捧げた。会場には卒業アルバムから取った写真が花に囲まれて飾られ、在りし日の級友を偲んだ。

広瀬靖久会長があいさつ、浜名久雄先生の祝辞に続いて安高徹先生が乾杯の音頭を取り祝宴が始まった。昭和38年卒業のこの期は、野球部が甲子園出場を果たしている。応援歌や校歌合唱は往時を思わせて熱が入った。みんな別れ難く、会場を変えての2次会にも60人が参加した。

また、これに先駆け午後4時半から尾山神社で行われた還暦のお祓いは約50人が受けた。

（八田伸一 記）



RYOKI

菱機工業株式会社

取締役社長 北川雅一朗（泉丘39期）

専務取締役 北川 信重（泉丘21期）

〒921-8626 金沢市御影町10-7

TEL (076) 241-1141 FAX (076) 244-6888

介護老人保健施設

ピカソ

〒920-1185 金沢市田上本町力45-1

☎ (076) 231-6225 (代)

平成17年度の「一泉賞」に10人が決まり、3月4日の全日制、12日の通信制卒業式の席上、蚊谷八郎一泉同窓会会長から各人に賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分が贈られた。今年度は文科省指定のスーパー科学高としての3年間の成果が実り、理数系全国大会で活躍した受賞者が多いのが特長。

同賞は在学3年間を通じ、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られるもので、平成6年度に一泉基金事業の一つとして設けられた。

受賞者は次の皆さん（全日制9人、通信制1人）。

◆**寺尾侑子** 第50回青少年読書感想文全国コンクールで全国学校図書館協議会長賞を受賞。部活動でも美術部部長のほか図書委員として、保育所への読み聞かせボランティア活動に積極的に参加した。

◆**大藏崇史** 1年生で全日本ジュニア・オリンピック110mハー

ドル優勝。3年では国体少年男子同8位入賞など3年連続国体出場。平成17年度北信越高校チャンピオン。全日本J選手権では大学生に混じり7位に入賞した。

◆**西澤尚平、前野清太郎** 2人は3年間化学部で熱心に研究に打ち込んだ。平成17年5月、米国アリゾナ州フェニックスで開催された「科学のオリンピック」とも言われる国際学生科学技術博覧会に出場。2年生では高校生科学技術チャレンジで朝日新聞社賞を受賞（県内）した。発表論文は「銀のリサイクル

と江戸時代の写真術の再現」。

◆**亀渕萌** 1年生の時、「原子力の日」記念高校生論文で文部科学大臣賞を受賞。弓道部の中心選手として3年生では県高校春季大会団体3位、県高校総体団体6位、金沢市体育団体での準優勝に貢献した。

◆**坂口達也** 2年生の時、国際生物学オリンピックで第2次国内選考に出場、4位となる。温厚で誠実、何事にも前向きな努力家で金沢市子供会連合会から高校生リーダーとして表彰された。

◆**尾崎順一、斉藤学、中村翔太** コンピュータ部の3人は1年生の時、全国高校パソコン甲子園2003のプログラミング部門に出場、いきなり準グランプリを受賞。2年生で連続出場した同2004でグランプリに輝いた。また尾崎君は3年生で出場した全国高校物理コンテストで金賞、同化学グ

ランプリ2005で銀賞を受賞した。斉藤君は同じ大会金賞、シュプリングー数学コンテストで優秀賞を3度受賞した。中村君は2年生の時、アジアの国際チームも参加したスーパーコンピューターコンテストで5位入賞を果たした。

◆**中山貴博** 全日制から通信制に編入したが病気がちで続かず中退、健康を取り戻した平成15年に再入学。生徒会長として諸行事を成功させ、卓球部員でも北信越定通総体優勝に貢献、学習面も好成績を残した。

おめでとう「一泉賞」 SSH 実り10人が受賞



有限会社 セキノ不動産

代表取締役 **関野 正二**（泉丘21期）

事務所 本店 金沢市幸町13番24号

〒920-0968 TEL076-222-2230 FAX076-231-5765

事務所 駅西店 金沢市北安江4丁目17番18号

〒920-0022 TEL076-222-2285 FAX076-223-8840

http://www.sekino-f.co.jp

皆川司法書士事務所

司法書士 **皆川 容徳**（泉丘21期）

〒920-0364 金沢市松島2丁目6番地

TEL 076-240-7733

FAX 076-240-7734

明治36年、一中10期の卒業



没後60年をへた今も、台湾の人々の手で建立された墓前で、毎年法要を続けてもらっている先輩がいることを、同窓の皆さんはご存じでしょうか。

その先輩は明治36年、金沢一中を10期生として卒業した金沢市今町生まれの八田與一＝写真＝です。與一は東京帝国大学卒業後、日本が統治していた台湾に渡り総督府の技術者として、台湾開発のために数々の事業に携わりましたが、昭和17年5月8日、時の政府の要請で綿花栽培の灌漑調査のためフィリピンに向かう途上、アメリカ海軍潜水艦の攻撃を受け、台湾発展にかけた生涯を56年で終えました。

與一が台湾に残した最大の業績は、自ら調査設計し総責任者として10年の歳月をかけ、同5年に完成させた1億5千万トンを貯水する烏山頭ダムと、1万6千キロに及ぶ給排水路からなる大灌漑施設の建設です。不毛の嘉南平野15万ヘクタールを肥沃な農地に生まれ変えた與一は、台湾の人々から「嘉南大圳の父」として敬愛されています。

灌漑ダム建設、3年輪作給水

巨大なその規模は世界の土木界を驚かせましたが、與一の卓越した能力を知らしめたのは、調査の時点で全面積を水田にするには水が不足しており、水田にできる面積

だけを開発すれば一とする上司の意見に対し、「そこに住む人すべての人が平等に農業を営むことができなければ、開発の意味がない」と主張して『3年輪作給水法』という新たな営農方式まで考案して、全面積を農地にしたことです。

夫人の外代樹も金沢の人で、第一高女卒業後すぐ與一と結婚、仕事に打ち込む夫を支え8人の子の母としてたくましく生き、夫亡き後も台湾で暮らしていました。戦争末期はかつて工事中に住んでいた烏山頭の疎開先で終戦を迎えました。そして9月1日に夫の造ったダム放水口へ身を投げ、台湾の土となりました。

生誕120年で記念事業

夫妻の死を悼む現地の農民は、同21年12月にダムのほりに夫妻の墓を建て翌22年5月8日、與一の命日に初めての墓前法要を営み、以来今日まで続けているのです。

平成16年5月に金沢市は“日台友好の偉大な懸け橋”となった八田與一を金沢の偉人に顕彰しました。今年は與一生誕120年です。私たちは記念事業として広く協賛金を募

り今秋、生家前に生誕地碑を建立し、八田與一資料展を市立ふるさと偉人館で開催します。

没後60年を超えてもなお異国の人々に慕われ続ける八田夫妻は、私たちに「人間の生き方」を教えてくれるお手本です。一泉同窓会の皆様のご協賛へのご協力とふるさと偉人館への参観を心から願っています。

「日台の偉大な懸け橋」 なった金沢の偉人・八田與一

中川 外司(泉丘8期)



ダムのほりにある八田夫妻の墓(右奥)と記念像

文化・運動部 OB 会だより

桜美会小品展と遊行展

金沢一中・泉丘高校美術部 OB の U5 小作品展と遊行展が金沢市内の 2 会場で開かれ、同窓生だけでなく一般の人たちも多く鑑賞に訪れ、にぎわった。

平成17年5月11日から17日まで下本多町のエルフ金沢での小品展は、今年で29回目。展名の通り8～10号の絵画を中心に、書や写真など35点が展示された。91歳の村田尚一さん（一中39期）は油彩画「旧県庁舎と椎の木」を出品、元気なところを見せれば大槌勘兵衛さん（同52期）の陶芸「抹茶盃」、氷田清風先生の書「且坐（しゃざ）喫茶」も見応えある作品だった。

また、12日から19日まで片町のラプロ7階のアートシアターいしかわでの遊行展には、12人が14点を出品。昨年までのスケッチ旅行展を発展させたもので、白川郷でのスケッチ作品が多く出された。

桜美会本展もにぎわう

旧制金沢一中・泉丘高校卒業生の美術愛好者80余人で組織する「一泉桜美会美術展（本展）」＝**写真**＝が10月18日から23日まで、ラブリ片町7階のアートシアターいしかわで開かれ、多くの鑑賞者でにぎわった。

同展は会が発足した昭和48年から毎年開かれており、今年で33回目。会場には57人の作品64点が飾られた。洋画、日本画、水墨画、写真にまじり津田三枝子さん（泉丘8期）のパンフラワー、安野喜隆さん（同10期）のケヤキの厚盤板に彫った見事な刻字、岡部輝代

さん（同18期）の和紙ちぎり絵、江尻外茂治さん（同32期）の色紙も話題作。絵の同窓会が趣味の分野まで大きく裾野を広げ、生涯学習の場としても同会が役立っているようだ。



泉丘14期生が「3人展」

泉丘14期卒業生3人による「トレ ペルソーネ展」が11月20日から24日まで、金沢市のラブロ片町アートシアターいしかわで開かれた。岡田千佳子さん（金沢市）、新谷光さん（同）、松村舞子さん（野々市町）の3人で油彩やアクリル画、コラージュなど一人15点ずつ45点が出展された。

岡田さんは優雅なペアダンスを軽やかなタッチで描き出し、新谷さんは旅行スケッチや旅の写真をコラージュした作品を制作、松村さんは「ガンジスの恵み」など異国情緒あふれる油彩画を出品した。会場にはこのほか3人の家族の作品5点ずつも並べられた。

高校時代、岡田さんは美術部、新谷さんは文芸部、松村さんは書道部だった。社会人となってから各人が趣味の世界を磨き上げ、母校100周年の時に出展、「いつか3人展を開きたい」との約束が実現したもの。展覧会の看板は松村さんが書道の腕前を生かして書きあげた。

231
〇九五
(〇七五)

近江町市場
ぐんわ
F.A. 通し

岩内
かまぼこ
美味

ホームページ <http://success21.com/iwauchi/>

専務 岩内三千夫 (泉丘22期)

損害保険・生命保険

株式会社 ワイズステージ

代表取締役 越守 俊夫 (泉丘22期)

金沢市増泉 1-18-16 M&Fビル3F
TEL (076) 244-7400 FAX (076) 226-0530

内科・麻酔科・リハビリテーション科

佐伯ペインクリニック

院長 **佐伯 善機** (泉丘22期)

金沢市弥生 2丁目21番15号
☎ (076) 280-2262

ハイ Y OB・OG 会が発足

泉丘高校ハイ Y OB・OG 会の設立総会が 8 月 20 日、ホテル KKR 金沢で開かれ、会長に山内健司さん（泉丘 5 期）を選ぶとともに 2 年ごとに総会を開くことにした。

戦後のキリスト教ブームによって泉丘高校にハイ Y が誕生したのは、昭和 25 年卒業の 2 期生から。キリスト教研究会から 2 年後に同好会、同 29 年に部になったが 49 年に廃部となった。この間、西脇勲先生や大田稔先生が顧問を務め、94 人が在籍した。

「青春時代に情熱を燃やした思い出をもう一度」の声に押され、今回事務局長に就任した田村謙治さん（同 14 期）が同窓会事務局の協力で当時の部員名や住所を調べ、設立総会に漕ぎ着けた。

当日は 32 人が出席（ほかに他校から 4 人参加）、賛美歌斉唱、聖書朗読のあと総会、続いて俵友恵前金大医学部保健学科教授（同 11 期）の講演「これからが我が世の春～ネパールで学んだこと」を聞いた。第 3 部の懇親会では会員によるマジックショーや、懐かしい写真を集めたスライドがあり、「人生とは何ぞや」を真剣に考えた高校生時代へタイムスリップしたような一時を過ごした。



金沢泉丘ハイ Y OB・OG 会
2005 年 8 月 20 日（土）KKR ホテル金沢

野球部 OB 19 年に創部 100 周年行事

一泉野球部 OB 会の第 11 回総会・懇親会が 11 月 26 日、メルパルク金沢で開かれ、2 年後の 19 年に創部 100 周年の記念イベントを大々的に行うことを決めた。

2 年ぶりの総会で、山本道生会長（一中 54 期）が「会員の結束をさらに強め、物心両面で後輩達を支援し、甲子園への道を拓こう」と呼びかけた。創部 100 周年の実行委員会を発足、委員長に宮地治氏（泉丘 23 期）を選んだ。懇親会では思い出のプレーなどに花が咲き、校歌を歌って散会した。母校から上田政憲校長と北橋義仁監督が出席した。

（泉丘 39 期・山本勝己 記）

泉泳会がプールサイド同窓会

金沢一中と泉丘水泳部 OB の「泉泳会」は 8 月 13 日、母校でプールサイド同窓会を開き約 30 人が現役部員とともに水しぶきを上げた。

水泳部は昭和 4 年に創部、同 35 年のローマ五輪 200M 平泳ぎで銀メダルに輝き、現日本マスタース水泳協会長を務める大崎剛彦（泉丘 9 期）を輩出した。この日は大崎氏も出席、最高齢の向川勇会長（同 1 期）らと共に現役部員とのスイカリレーなどを行い、はつらつとした泳ぎを見せた。

また、同夜は金沢駅前のガーデンホテルで懇親会を開いた。席上、次年度の活動として樹齢 70～80 年を超えるプールサイドの桜の若返りを計るため、18 年春に苗木 5 本を植樹、石田健氏（同 4 期）の指導で古式泳法の伝承を広めることを決めた。

これに先がけ会員たちは、7 月 16 日に母校のプール清掃奉仕を行った。

特定建設業
ISO9001/14001 認証取得

株式会社 沢本組

代表取締役 **澤本 敏**（泉丘 22 期）

〒929-1125 石川県かほく市宇野気
二 80 番地
TEL (076) 283-2074
FAX (076) 283-2082

JESK HORIUCHI
株式会社 ジェスク ホリウチ

代表取締役社長 **清水義博**（泉丘 22 期）

本社 金沢市泉 3 丁目 1 番 6 号
TEL 076-242-3175
FAX 076-245-3012
http://www.jesk.co.jp/
金沢・新潟・富山・福井・長岡・長野

医療法人社団

津田歯科医院

理事長 **津田 幸夫**（泉丘 22 期）

〒921-8112 金沢市長坂 1-1-1
TEL・FAX (076) 241-7237（代）

送球部 OB・OG 会がいい汗

8月14日恒例の送球(ハンドボール)部 OB・OG 会に OB20人、OG29人が集まった。現役部員も男子18人、女子28人が参加した。

同会は試合で汗を流すのを楽しみに続けられており、午前9時から午後4時すぎまで OB・OG 同士や現役生との交流試合が行われた。特に現役勢との試合では厳しい指導の声も飛び、いい汗を流しあった。

同会は毎年8月14日に行っており、大勢の参加を呼び掛けている。

陸上部 OB 会 新部旗の下に結束

泉丘高校陸上部 OB 会の17年度総会・懇親会が11月23日、金沢ワシントンホテルで開かれ、新調した3代目部旗の下での結束を誓いあった。

木本利夫会長(泉丘16期)以下30人が出席、部旗贈呈では旗の地色をめぐるひとしきり話がわいた。昭和24年、小松暁一氏(同3期)の時に作った初代部旗は地色が薄緑だったとか、スクールカラー通りの濃い緑だったと意見が分かれたが、洗い古して使っていたので薄緑の記憶があるのだろう—ということでは落ち着いた。ともあれ、常に部旗の下に結束し、高校総体で逆転総合優勝を何度も勝ち取って来た仲間たちだけに、部旗への思いも強いものがある。

団結には部旗のほかにもシンボルが必要との意見が出て、往年の金沢一中陸上競技部応援歌の復活が提案され了承、後輩の指導・応援も積極的に行うことを決めた。懇親会ではそれぞれがスピーチ、近況や思い出を披露した。なお、事務局は山下一夫氏(同19期)が

退任、新たに岡島清氏(同30期)が就任した。
(泉丘4期・正村健三 記)

高川前会長が扁額を寄贈

一中・泉丘の剣道部 OB 会「剣友会」は2月18日、相次いで監事会、総会、懇親会を開き、現役部員の強化を誓いあった。

母校の会議室で開いた監事会、総会には25人が出席、17年度の事業や決算報告の後に役員改選を行った。高川義一会長(一中53期)、雄谷助成(泉丘10期)、村田竹司郎(同11期)両副会長が顧問に退き、新会長に副会長だった船木一璋氏(同14期)が選出された。また新副会長には太田紘人(同16期)氏と鈴木庸雄氏(同18期)、新監事に高畠菊丸氏(同16期)と笠間洋氏(同17期)を選んだ。



続いて高下裕介剣道部顧問から、女子がインターハイ県予選で団体3位となり北信越大会に出場したことなど、現役部員の活躍が報告された。この後、高川前会長から剣道部に「事上磨练」の扁額が寄贈された。道場だけの修行に留まらずすべての場面で練磨せよ—との励ましの意味で、道場に掲げられた。

懇親会は会場を金沢スカイホテルにかえて行われ、久しぶりの思い出話にわいた。

中塚歯科医院

中 塚 直 (泉丘22期)

金沢市額乙丸町ハ84-4
TEL (076) 298-6533

ソフトウェア・WEB 開発

石 川 O A

代表 博多 又二 (泉丘22期)

かほく市高松ノ1番地
TEL 076-281-1258
FAX 076-281-3211
<http://ishikawaoa.ace.mepage.jp/>

オートバンク・カーコンビニ倶楽部・ヤマト車検

キスモ株式会社

代表取締役社長 林 隆信 (泉丘22期)

本社・金沢市西泉3-2-1
TEL 076-280-4455
FAX 076-280-0657

OB 講演・後輩を激励

未知の世界に挑戦せよ 宇宙開発機構の舟木政信氏



平成17年度の生き方講演会が5月13日、啓泉講堂で行われ、宇宙航空研究開発機構の舟木政信産学官連携グループ長（泉丘21期）が「きれいな事にもチャレンジせよ。頑張れば必ず成し遂げられ、大きな感動が得られる」と後輩たちに訴えた。

舟木氏は「日本の人工衛星」と題して講演、人工衛星の種類や軌道、今後の打ち上げ計画などスライドを使って分かり易く説明、「この中から宇宙開発に携わる人が出てほしい」と未知の世界への挑戦を促した。また、高校時代の思い出としてサッカーに熱中、高校総体や国体に出場したこと、大嫌いだった読書やクラシック音楽が友人などの勧めで好きになったと、生涯の趣味をもたらせてくれた人に感謝したいと述べた。

最後に舟木氏は、母校の全国大会出場を私だけでなく多くの先輩たちが待ち望んでいる。文武両道の泉丘精神に期待したいと結んだ。

生き抜くための武器を 「学年講座」で池田真一氏



泉丘高校1年生対象の「学年講座」が10月27日、同校の啓泉講堂で開かれ、イオン(株)の池田真一氏（泉丘26期）が「企業人としての行き方～進路決定にあたり後輩への助言」と題して講演、「人生は決断の連続であり、生き抜くための武器（スキル）を持つ

ことが大切。そのためにも高校時代にしっかり勉強しておこう」と述べた。

池田氏は1978年に花王石鹼(株)に入社、89年にタイ国花王副社長、98年に花王販売(株)チェーンストア部長として活躍、2001年に商品開発・販売促進の専門家としてジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、翌年にヘンケルジャパン(株)、今年はいオン(株)に迎えられた。

今は優良企業でも20年先には倒産か合併など、どうなっているか分からない。職業だけでなく進学、結婚、転居、転職と人生は決断（選択）の連続。決断は自分でするもの。人に勧められたのでは責任を転嫁し、進歩しない。その上で生き抜く武器を持てとして①親兄弟に頼らなくてもよい②現在の会社や組織がなくても生きられる③日本以外の国でも生きられる④ヘッドハンティングされるような人になれると訴えた。

日韓両国が良い関係を 人権講話で成玖美さん訴え



1年生を対象にした17年度の人権講話と修学旅行（韓国）事前指導が1月31日、啓泉講堂で行われた。講師は泉丘42期卒業生（東大卒）で名古屋市立大大学院人間文化研究科助教授の成玖美（そんくみ）さん。

成さんは金沢市生まれの在日韓国人3世。「日本と韓国のあいだを想う」と題して、在日韓国人が日本の社会の中で強いられた非合理的な差別（合理的な制限かも）について裁判例をあげて説明、両国民が互いの国の歴史や文化を学び、理解し合って良い関係を作っていって欲しいと訴えた。

歯科・小児歯科・歯科口腔外科

ヒラ歯科医院

院長 平 一彦（泉丘22期）

金沢市笠舞1丁目23-23（パレット内）

ムシバワ
☎ (076) 222-6480

山崎太可堂薬局

薬剤師 山崎 茂（泉丘22期）

金沢店 〒920-0842 金沢市芳育2-5-31
TEL・FAX (076) 261-0111
辰口店 〒923-1225 能美市松が岡4-58
TEL・FAX (076L) 51-5000

寿し割烹 **宝生寿し**

代表取締役 山守 闊（泉丘22期）

金沢市大野町4-72（大野バス停前）
TEL (076) 267-0323(代) FAX (076) 267-2614

「やりたい思い」が進路に 社会人と語る会に5先輩

中谷内修さん



先輩たちの話を聞き、自分の将来や進路の参考にする平成17年度『社会人と語る会』が11月1日、2年生を対象に啓泉講堂で開かれた。

山村淳一さん



パネリストとして招かれたのは石川県立大 DNA 分析技術教育センター助手の中谷内修さん（泉丘37期）、金沢医科大学小児科学教室助手の山村淳一さん（同）、ノーベルインターナショナル金沢支店長の

神原庸子さん



神原庸子さん（同39期）、日本料理銭屋主人の高木慎一朗さん（同42期）、石川テレビ放送業務局の吉田美央さん（同45期）の5人。コーディネーターは木村光一郎泉丘高校教諭（同37期）が務め、「21世紀を生きる君たちへのメッセージ」と題して話し合った。

高木慎一朗さん



吉田美央さん



まず、高校時代の過ごし方では泉丘の「自由な校風」を満喫、部活動や創立記念祭などの学校行事を通じ多くの友人と思い出を作ってほしい。野外劇などに力を入れすぎて受験勉強の巻き返しに苦労したとしても、良い思い出は長い人生にとって大切なこと。なんでも吸収できるのは高校時代が一番との話が出た。

また、進路の決め方では、早くから自分のやりたいことを持ち続けよ。それが漠然としたものであってもなんとなく進路が見えてくる。しっかり固まり医者なら医学部だし、弁

護士なら法学部だが、自分の行きたい大学を見つけることも勉強が頑張れる要素になり得る。英語が好きだからと語学を武器に将来を生きようとするには、高校3年間の普通の英語勉強では太刀打ちできない。偏差値やテストの成績などいろいろあるが、それらを全部抜きにして自分自身の価値観の中でどう生きるか—も人間として大切なこと。仕事に楽しなものはないが、苦しいこともやりがいに変えれば続けていける、と訴えた。

トピックス

鶴見さん、東京芸大講師に



泉丘44期のピアニスト・鶴見彩さんが、平成18年4月から母校、東京芸大の非常勤講師となり、後輩たちにピアノを教えることになった。

金沢市出身の鶴見さんは泉丘高を経て東京芸大、大学院修了。DAADドイツ政府給費留学生としてカールスルーエ音大ソリストコースに入学、最優秀成績で修了。第65回日本音楽コンクール第2位のほか、国内外の数多くのコンクールに入賞。ソリストとしてOEKほか内外のオーケストラと共演している。平成5年の一泉創立100周年、同10年の泉丘創立50周年では金沢市観光会館で記念リサイタルを開いた。

東京芸大講師は97人中2人が採用になった難関。今春から世界で活躍する芸術家を養成することになるが、住まいは金沢。新たな経験を石川の教え子に伝えたいからという。

加賀の菊酒



萬歳樂

株式会社 小堀酒造店

代表取締役 小堀 幸穂（一泉同窓会副会長）
（泉丘17期）

日榮・加賀雪梅 醸造元

金沢 中村酒造株式会社

代表取締役 中村太郎（一泉同窓会副会長）
社長 （泉丘35期）

本社 〒920-0867 石川県金沢市長土堀3丁目2番15号
TEL (076) 248-2435 FAX (076) 248-2436

山本協一先生(昭和5年から16年まで在職)のこと

『英語と音楽の教え』

平成17年度関東一泉同窓会総会のあいさつで、浅井敏郎会長（一中50期）は、一中時代の英語担当だった山本協一先生（昭和5～16年7月在任）の授業の思い出を語った。

英作文の時間に生徒たちが藤村の詩や牧水の短歌、漱石の文章、論語の格言など難問を出しても、先生は淀みなく英訳文を板書された。しかも教訓的な格言には荘重な、孤独を詠う短歌には哀調のこもった響きの言葉を選

生徒を引きつける授業

んで。異質の言語・文化をつなぎ一つの世界にする先生の高度な表現力に、敬服した一中生は、がぜん学習意欲を高めた。

音楽の指導も生徒たちを引きつけた。平石英雄氏（同41期）は語る。3年生時、正規の時間割にない音楽の授業が始まった。自由出席でそのつど手製のプリント楽譜が配られた。内容は文部省指定の唱歌から賛美歌、黒人霊歌、ハイドン、モーツァルト、米英国歌、スコットランド民謡と多岐にわたった。

この音楽の授業が当時の若者の感性をいかに揺さぶったか。幾人もそのプリントを長い歲月保存しておられる。昨年、中川松雄氏（同43期）からボロボロ寸前のわら半紙で44点を校史資料室に寄贈して頂いた。

『変動の時代－昭和初期』

昭和5年を境に金沢一中の教育方針は激変する。「デモクラシー」という言葉を使い、自由な気風の生徒を訓育していた吉村源乃助校長に代って、愛知一中を改革した伊藤弁美校長が着任、国家主義精神のかん養、教師陣の入替、生徒規律の強化、授業増を遂行した。この変動は津波のように日本社会のあらゆる

分野で起きた。中国東北部で勃発した戦争、相次ぐ右翼テロによる政党内閣の終焉などに世論はむしろ高揚した。昭和8年教師陣入替に反発した一中生はストライキを決行したが結果は伊藤校長退任、5年生リーダー5人退学であった。このような内外の緊張とは異質の場が山本先生宅であった。

『心を潤すオアシスの場』

後年、シューベルト作品目録作成でその道では知られることになる平石氏らは、レコード盤と洋書がうず高く積まれている部屋の常連であった。四高や工専の先輩も来ていた。

先生は教え子たちの議論に加わず、時に「ウンウン」とか「そうだね」とか相槌を打たれるだけ。長町聖霊病院近くのお宅へ通った者には「心の中に別天地のような青春のオアシスの場を持つことになった」と述懐する。

得能与三郎氏（同50期）は「先生の人格と世界の名曲が一つの趣味として我々の心を潤してくれた」と語っている。

無教会系クリスチャンであった先生の影響で入信し、生涯信徒の道を歩んだ西村正治氏（同39期）は、孤独に悩んだとき、人生の意義を



自宅でも“慈味”の教え

論され、更に外国の言葉を知ることが相互の文化を尊重し合うことになるかと教えられた。

『金沢との縁』

山本先生は昭和16年7月退職、7月30日に東京へ去られたが、上野行き急行の金沢駅プラットホームは一中生と四高、工専生で満ちたが肅然と送ったという。戦時中荏原中学に3年間勤務されたが、爆撃激化で金沢へ一旦疎開、英語は敵性言語と呼ばれており、生活の道がなく終戦前に再上京。戦後約2000枚のレコード盤が新宿のレコード屋に出回り、平石氏がシューベルト10枚を手に入れた。

山本先生は昭和41年に永眠された。

活躍する後輩たち

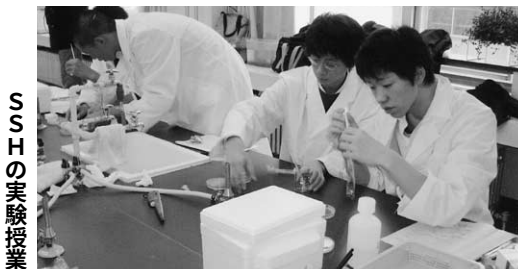
過去最多、東大に20人(蘭)合格

熱心な指導、SSH 指定も実る

東大の前期入試の合格者が3月10日に発表され、泉丘から20人(現役16人、浪人4人)が合格した。昨年前後期合格者7人の3倍弱の人数で、過去最多。金大附高の11人を大きく上回り小松、七尾各1人の県内合計33人の61%を占める大躍進となった。

東大をめざしたため阪大、神大の合格者は減ったものの、それでも京大は11人(昨年6人)、阪大は13人(同21人)、北大13人(同8人)、神大12人(同17人)のすばらしい成績となった。

開学以来の実績を残した背景として①若手教諭陣による熱血指導②7限授業による必要時間の確保③スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定により、理数系や語学での高度な教育の実践などが挙げられる。



SSHの実験授業

同校は文科省に対し、SSHの5年間指定延長を申請しており、独創性のある科学技術系人材の育成を一層強化したいとしている。

エネルギークイズで優勝

第5回高校生エネルギークイズ石川大会が7月24日、志賀町のアリス館志賀で県内14校の27組、54人が参加して行われ、泉丘2年の中西佑基君と布野真秀君のペアが優勝、愛知県での全国大会に進んだ。

県合唱コンクールで金賞

第47回県合唱コンクールが8月22日、白山市の市鶴来総合文化会館「クレイン」で開かれ、高校Aの部に出演した泉丘高は金賞を受賞、9月24、25日に長野市で開催された中部合唱コンクールに出場した。

新聞コンクールで最優秀賞

第54回石川県高校新聞コンクールの表彰式が10月31日、金沢市の北國新聞会館で行われ、総合の部で泉丘は二水、金市工と共に最優秀賞に選ばれた。3校は18年8月の全国高校総合文化祭青森大会の新聞部門参加校として推薦される。また泉丘は企画賞、学芸賞も受賞した。

多田さん、国税庁長官賞に輝く

17年度の「税に関する高校生の作文」で、泉丘高1年の多田菜実子さんが国税庁長官賞に輝いた。「私達が考えるべきこと」と題して多田さんは、生活水準や少子高齢化を考えると税が高くなるのは当然と主張、その中で無駄を省き、公共サービスの充実と税負担の折り合いをつけていくことが今後の課題と訴えた。

裁判員制度の理解深める

泉丘高の1年生約40人による模擬裁判が10月25日、金沢地裁で行われた。裁判員制度のスタートが予定される平成21年度に20歳になる1年生の総合学習の一環で、希望者が参加。法服を着た裁判官役3人と裁判員役の6人が並び、架空の強盗致傷事件について刑事裁判の流れにそって審議、検察側が懲役6年を求刑、弁護側が無罪を主張したところでいったん締めくくった。その後、各班ごとに分かれて有罪、無罪を話し司法参加について学んだ。



北國新聞社提供

英語劇、泉丘が3連覇

県高文連の第27回英語劇発表会が11月11日、金沢市の県女性センターで開かれ、大地震に見舞われた家族のきずなを演じた泉丘が3連覇を果たした。

平成17年度一泉文庫寄贈・購入本

書 名	著 者	購入・寄贈者
光と闇と風の少年	伊吹梢 (泉丘30期)	伊吹 梢 (泉丘30期)
裁錦會詩集Ⅶ	糸田宗人 (一中54期)	糸田宗人 (一中54期)
金沢城下町	長谷勝彦 (泉丘11期) 執筆 石田文一 (泉丘33期) 執筆	長谷勝彦 (泉丘11期)
トワイライトゾーン	泉丘高校鉄道研究同好会執筆	購入
テキストブック 財政学	飯野靖四 (泉丘12期) 執筆	購入
現代財政のフロンティア	飯野靖四 (泉丘12期) 編・執筆	購入
スキルの認知心理学	神宮英夫 (泉丘23期) 著	購入
印象測定の心理学	神宮英夫 (泉丘23期) 著	購入
はじめての心理統計	神宮英夫 (泉丘23期) 著	購入
阪神淡路大震災復興史全 4 巻	21世紀ひょうご創造協会	亀田 廣 (泉丘 2 期)
石川の滝77紀行	北川憲明 (元教諭)	吉本 洋 (泉丘22期)
石川の桜2001年	北川憲明 (元教諭)	吉本 洋 (泉丘22期)
経済人・胸の内外 (1)	北國新聞社	購入
グッバイむちうち症	越田 昭 (泉丘17期)	越田 昭 (泉丘17期)
鳴動伝 矢田富雄 (一中36期) 伝	角間 隆	購入
英米紀行	大沢 衛 (一中29期)	購入
杉月皎々 笠森伝繁 (一中12期)	石川県社会教育協会	購入
エッセイ集・続・本籍金沢	斉田直行 (一中30期)	斉田直行 (一中30期)
奥の細道吟行	加藤楸邨 (一中30期)	購入
芭蕉全句 上・中・下	加藤楸邨 (一中30期)	購入
一茶秀句	加藤楸邨 (一中30期)	購入
句集 望岳	加藤楸邨 (一中30期)	購入
日本の名随筆	加藤楸邨 (一中30期)	購入
人生探究 (宮川隆泰追悼集)	宮川隆泰追悼集を刊行する会 (一中54期)	宮川明子 (隆泰氏夫人)
峰を目指して	入江敏夫 (一中46期) 先生を偲ぶ会	中川松雄 (一中43期)
歌集 鬼川	高橋協子 (泉丘 8 期)	高橋協子 (泉丘 8 期)
現代日本美術の展望 立体造型展	富山県立美術館 新妻 実 (泉丘 2 期) ピラミッド83	購入
人間とは如何なる存在か	辻 久 (泉丘17期)	辻 久 (泉丘17期)
集合と何か。	竹内外史 (一中50期)	購入
百人十百句	大岡 信・加藤楸邨について詳述	購入
霊峰白山を仰ぐ (図録)	井田重男 (元美術教諭)	購入
寺西秀武と北京恢弘塾	上谷親夫 (泉丘 1 期)	上谷親夫 (泉丘 1 期)
読んでわかる地理	北野 豊 (泉丘18期)	北野 豊 (泉丘18期)
新しい代数	本部 均 (一中32期)	本部 静 (均氏夫人)
解析幾何学	本部 均 (一中32期)	本部 静 (同)
自然幾何学	本部 均 (一中32期)	本部 静 (同)
Memoirs of a Proof Theorist	竹内外史 (一中50期)	購入
三つの民営化	角本良平 (一中44期)	角本良平 (一中44期)
句集 山河有情	本田一杉 (一中21期)	本田泰三 (一杉氏子息)
随想録	永井正三 (一中38期)	福田睦 (泉丘 8 期)
逢坂元吉郎説教集 上・中・下	新教出版社編	購入
大野誠夫の歌の水辺に	高橋協子 (泉丘 8 期)	高橋協子 (泉丘 8 期)
凜として 美しく生きた12人	産経新聞・八田與一伝	購入
八田與一関係 海をわたり夢をかなえた土木技術者たち 台湾集	全国建設研修センター 台湾国民中学歴史教科書 李 登輝、古川勝三	中川外司 (泉丘 8 期)
「祈りの家」の宮守として	番匠鉄雄遺稿集刊行 (一中22期)	星野 命

身体が弱く欠席がちな私は、全日制の高校に進学したものの進級ができず、将来に対して悲観的になっていた時、泉丘高校通信制の存在を知り、入学しました。

自分の夢をかなえる仕事は、高校卒業という資格が不可欠であることが大きな理由でした。スクーリング・レポート・試験の3本柱で毎日通学しなくても、自分の体調とペースに合わせ単位を修得していくシステムは格好のものがしたが、自学自習で不安や焦りを感じ、試験に合格できない時は孤独感から落ち込みもしました。

そんな自分を支えてくれたのは、1年時か



充実した3年間

泉丘通信制49期 中山貴博

ら係わった生徒会活動でした。学校行事に積極的に出席し、行事の企画を進めていくうちに周りの友情の輪が広がり、悩みや喜びを共有できたことです。生徒会の会長という責任ある仕事は、「やればできる」という自信につながり、いつし

か身体も強くなったように思います。

通信制の先生方や学び舎で知った友だち、この出会いのお陰で3年間での74単位だけでなく、それ以上の多くの見えない単位を修得して卒業できたと思います。充実したこの3年間で大切な財産として、今後は自分の夢実現に向けて頑張ります。

通信制の託児所が閉鎖

泉丘高校通信制に設けられていた託児所が、利用者の激減で17年度いっぱいまで閉鎖された。

子どもを持ち働きながら学ぶ学生のために昭和52年4月から開設された託児所は、保護者と学校でつくる「いづみの会」が運営、県立保育学園の学生アルバイトが子どもの面倒を見て来た。校内一階の専用部屋には幼児用トイレや洗濯機も設けていた。平成10年ごろまで10～20人いた利用者が激減、17年度は3人が登録、実際の利用者は1人だけだった。

トピックス

大蔵克紀さんが新アルバム発売

泉丘43期の大蔵克紀さん(33)=金沢市出身=がリーダーを務める東京のロックバンド「水中、それは苦しい」が3月8日、2年ぶりの新アルバム「顔にやさしく」を発売した。また25日には同市内のライブハウス「vanvanV4」でライブを開いた。

「水中、それは苦しい」はギターと歌の大蔵さん(芸名・ジョニー大蔵大臣)を中心に、バイオリンとドラムという異色の編成。ユー



モアあふれる歌詞と過激な演奏が持ち味で、全国で精力的に活動している。大蔵さんは野田中時代、110m ハードルの市記録保持者だったが泉丘高校時代はケガに泣き、早大に進学してからロックの道に突き進んだ。

新アルバムは15曲入りで2,100円。スポーツマンらしく、瞬発力あるギターと歌声を聴かせてくれる。

〈編集後記〉

広告ご協力のおかげで、各期希望部数の総計に若干上乗せして印刷できます。なお、今年度の「33号」のみならず、以前のものもまだ残部がありますのでお分けできます。

古書店に金沢一中と泉丘初期の関係文書が史料として出ています。山本協一先生のプリント楽譜のように直接ご寄贈願います。この史料で一中の教育が、陸軍士官学校日本一を誇ったことから誤解されているように国家主義一辺倒ではなく、実は、多様な路線を持っていたことが一目瞭然です。一泉の史的事蹟は汲めど汲めども尽きません。

「一泉」編集室

正村健三(泉丘4期) 中山一郎(同10期)
浅香以都子(同10期) 小林弘子(同12期)
題字・高川義一(一中53期・泉丘2期)